

# 保有個人情報利用停止請求書の記載方法

## 1 請求年月日欄

請求する年月日を記入する。

## 2 請求先

実施機関を間違いないように記入する。

〔記載例〕 鹿屋市長〇〇〇〇 鹿屋市教育委員会 鹿屋市農業委員会

## 3 住所・氏名

利用停止請求者の住所(居所)及び氏名を記入する。代理人による請求の場合は、当該代理人の住所(居所)及び氏名を記入する。

なお、法人である代理人にあっては、当該法人の主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名及び担当者の氏名を記入するとともに、押印が必要である。

## 4 電話番号

(1) 連絡の必要が生じたときに、確実かつ迅速に連絡できる電話番号を記入する。

(2) 電話番号が上記住所の電話番号と異なる場合は、その連絡先の名称等も記入する。

## 5 利用停止請求に係る保有個人情報の内容

保有個人情報開示決定通知書等の「開示請求に係る保有個人情報の内容」欄を参考に、開示を受けた保有個人情報の内容を正確に記載する。

「開示決定に係る通知書の日付及び番号」は、保有個人情報開示決定通知書等から転記する。

「開示を受けた年月日」は、実際に開示を受けた日を記載する。

## 6 利用停止請求の趣旨及び理由

「求める措置」及び「利用停止請求の理由」は、該当する□にチェックする。

## 7 本人の状況等

代理人が利用停止請求する場合に記入する。

「本人の状況」は、利用停止請求に係る保有個人情報の本人の該当する□にチェックする。また、「本人の氏名・住所(居所)電話番号」は、利用停止請求に係る保有個人情報の本人の氏名、住所及び電話番号を記入する。

# 記入例

第18号様式

平成〇〇年〇月〇日

鹿屋市長 中西 茂 様

開示請求者 郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇  
住所(居所) 鹿屋市〇〇町〇〇番地  
氏名 鹿屋 太郎  
電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

(法人である法定代理人にあつては、  
その名称、主たる事務所の所在地  
及び代表者の氏名、押印)

## 保有個人情報利用停止請求書

鹿屋市個人情報保護条例第35条第1項(第2項)の規定により、次のとおり保有個人情報の利用停止を請求します。

1 利用停止請求に係る保有個人情報の内容	平成〇〇年度〇〇事業に係る文書の私の〇〇に関する記録		開示決定に係る通知書の日付及び番号 平成〇年〇月〇日 鹿〇第〇〇号 開示を受けた年月日 平成〇〇年〇月〇日
	求める措置	<input type="checkbox"/> 利用の停止 <input checked="" type="checkbox"/> 消去	<input type="checkbox"/> 提供の停止
2 利用停止請求の趣旨及び理由	利用停止請求の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 保有個人情報を適法に取得していない。 <input type="checkbox"/> 利用目的を超えた個人情報を保有している。 <input type="checkbox"/> 利用目的以外の目的で利用しており、例外事項に該当しない。	<input type="checkbox"/> 利用目的以外の目的のために提供しており、例外事項に該当しない。
3 本人の状況等 (代理人が請求する場合に記入してください。)	本人の状況	<input type="checkbox"/> 未成年者( 年 月 日生) <input type="checkbox"/> 成年被後見人 <input type="checkbox"/> その他( )	
	本人	氏名	
		住所(居所) 電話番号	